

# 後援会報

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB



平成24年9月発行

## 1部復帰、そして常連校へ

### 山口雅功

立正大学ラグビー部長  
社会福祉学部教授



ラグビー部後援会の皆様方には、日頃から大変お世話になっており、皆様方のご支援を肌にかけて感じております。5年目に入りましたラグビー部

長ですが、入替戦には4回臨みましたがいずれも残念な結果となってしまいました。後援会の皆様方のご支援に報わず、大変申し訳なく思っております。

本年度は1部復帰への最後の年かと再確認し、実現すべく練習に励んでおります。この秋の2部リーグ戦においては、当然ながら完全優勝を果たし、入替戦においては圧勝しての1部復帰です。来シーズン以降においては1部の常連校となり、大学選手権への出場です。練習においては、単に入替戦に勝つのみではなく、1部常連校となる力を養ってまいります。この目標が実現できるよう、この3月からの練習においては、日夜練習に励んでまいりました。夏の菅平合宿でチームの完成を目指し、秋のリーグ戦に突入します。リーグ戦においては、

皆様方のご期待に応えられよう猛進してまいりますので、ご声援をよろしくお願いいたします。

本年度は、今後が期待される男子部員25名と、女子部員3名(1名は大学院生)が入部しました。立正大学ラグビー部が1部常連校となり、その暁には2016年の夏季オリンピック(男女ともに)、2019年のワールドカップに卒業生が出て欲しいものです。

1部復帰、常連校、大学選手権出場を目指して歩んでまいります。部長としては、このことが実現できるよう支援してまいります。堀越監督ともどもコーチ、ラグビー部学生への、更なるご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりましたが、後援会の皆様方のご健勝を祈念しております。

## 今年こそ

### 吉田祐太

立正大学ラグビー部主将



今年度、立正大学ラグビー部で主将を務めさせてもらっております。秋田中央高校出身、吉田祐太と申します。

昨年からの引き継ぎ、今年度も「立正維新」のスローガンの下、部員一同、「1部昇格」に向けて活動をしてお

ります。

しかし、春のオープン戦の結果は例年になく悪く、チーム状況はとてつもないものとなっております。ですが、この苦しいオープン戦をこなしてきた結果、足りないものが明確となり、8月の菅平合宿、9月の練習期間でしっかりと課題を克服し、シーズンに向けたよい期間にしたいと考えております。

最後に私達4年生は、立正大学ラグビー部が2部であることが分かった上で入学した代わりです。立正を1部に昇格させたくて入学した私達ですが、入替戦では3年間悔しい思いをしてきました。この思いを胸に、最後の年でしっかりと結果を残し、悔いの残らないよう精一杯頑張りますので、皆さま応援よろしく申し上げます。

## 挑む心

### 大久保和政

立正大学ラグビー部後援会  
会長



立正大学ラグビー部後援会の皆様方には、昨年中はご支援とご後援を頂き、立正大学理事長、学長、ラグビー部部長を始め、学校関係者の皆様方には、後援会の運営に多大なるご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

平成23年度の2部リーグ戦は、完全優勝で終了致しましたが、4度目の1部リーグ入替戦は、あと一歩のところまで苦汁の涙をしたところであり、さて、スポーツの世界も私共経済界の会社経営も大変厳しい環境下の中で戦っているわけでありますが、日

頃社員に言っていることをご紹介致します。

人の心理には特徴があり、心は「矛盾する2つの心を同時に併せ持つ」というものです。肯定があれば必ず否定があり、プラスがあれば同時にマイナスがあるものです。

そこで、アテイススタイルの思考法という経営力の考え方があります。アテイス(A.T.I.S)とは、「挑む心」、つまり先頭に立つ勇気です。

努力にはやり通そうとする積極的なやる気と、「この方法でよいのか?」「失敗するのではないか?」「という迷いや戸惑いが付きまとうものがあります。それを、最初に振り払うのは、「よしーやろう」という勇気ある決断です。それが、「挑む心(アテイス)」なのです。

挑む心には、3つの自覚が必要で

- ①受け止める自覚：苦手な相手でも真正面から取り組もうという姿勢。
- ②協力しあう自覚：戦いを挑む組織なら経験や専門にこだわらず、すぐに実行する姿勢。また自発的な支援。
- ③必ずやり遂げるという自覚：与えられた課題に最後まであきらめ

ず、やり遂げるという決断と強い心。

以上をあらゆる場面で、適切に最善の選択と行動を発揮させる「勇気」がアテイスです。

今年こそ、ラグビー部の諸君は大変お世話になった山口部長、堀越監督のため、自分の人生のために1部リーグへの昇格に邁進して頂きたいと思っております。

先のロンドンオリンピックでは、日本選手団は前回よりメダルの数を増やしました。そして、2016年のリオデジャネイロオリンピックから7人制ラグビーが男女共に正式競技として決定、立正大学にも日本代表候補が男子女子とも在籍しています。

後援会の夢は選手諸君が、1部リーグに昇格し、大学選手権を取り、トップリーグの選手になり活躍して、2016年のオリンピックで躍動し、2019年の日本開催のワールドカップで熊谷のラグビー会場で活躍している姿です。

結びに後援会会員の皆様方には、ぜひとも熊谷のグラウンドに足を運んで頂き、選手たちに大きな声援をお送り頂きますようお願い申し上げます。

## 感謝を忘れずに

### 堀越正己

立正大学ラグビー部監督



いつも立正大学ラグビー部をご支援いただき、心より感謝申し上げます。

チームスローガンである「立正維新」は2年目を迎え、チームの意識改革は着実に実を結んできております。

今夏、連日熱戦が繰り広げられたロンドンオリンピックでは、男子水泳操チーム、なでしこ、そして男女水泳等の日本チームの活躍を目の当たりにし、チームワークの大切さと、目標達成に対する思いの強さが最後に勝負を分けることをあらためて教えられました。しかも、4年間という途方もない時間をかけて地道に積

み重ねてきたことを、今この勝負の時ですべての力を出し切る精神力の強さは、学生達も大いに勉強になったと思えます。

昨年の12月11日に、1部昇格まであと二歩のところまで敗れて以来、我々もまた、1部昇格への強い思いを胸に、春から二歩づつ練習を積み重ねて参りました。リーグ戦を確実に勝ち抜き、今年こそすべての力を出し切れる、強く、成熟した姿を皆様に披露できると確信しております。

また、昨年に続き今年も3名の女子部員が入部し、将来の女子日本ラグビーを背負って立つ存在となるべく、日々練習を重ねています。女子ラグビーが今後普及していくためにも、彼女達の存在は非常に大きな意味を持ちます。今後さらにレベルアップしていけるよう、全力を挙げて責任を果たしていきたいと考えております。

大震災で学んだ「感謝」の気持ちを忘れることなく、また、多くの方々を支えることによってラグビーが出来る喜びを感じながら、念願である1部昇格を達成したいと思っております。今季も変わらぬご声援を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成23年度 立正大学ラグビー部後援会決算報告

【収入の部】				(単価:円)
科目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	821,821	821,821	0	
年会費	2,080,000	1,592,000	△ 488,000	個人会員158件 559,000 法人会員 99件 1,033,000
総会・激励会参加費	190,000	294,000	104,000	総会懇親会費: 78,000 (39名×@2,000) 合宿激励: 60,000 (12名×@5,000) 激励会会費: 114,000 (38名×@3,000) 運営委員会: 42,000 (14名×@3,000)
雑収入	50,000	45,750	△ 4,250	総会表賀 30,000/激励会表賀 10,000 合宿激励寸志 5,000/合宿激励昼食代 750
大学より協力費	200,000	200,000	0	
合計	3,341,821	2,953,571	△ 388,250	

【支出の部】				(単価:円)
科目	予算額	決算額	増減	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	
事業費	600,000	539,840	△ 60,160	総会 80,000/合宿激励 135,840/激励会 254,000 運営委員会 70,000
会報等発行費	200,000	123,750	△ 76,250	会報印刷-会費振込用紙印字代
事務費	200,000	140,420	△ 59,580	通信費他
会費振込手数料	30,000	22,010	△ 7,990	郵便振込み
予備費	811,821	0	△ 811,821	
合計	3,341,821	2,326,020	△ 1,015,801	

【決算の部】				(単価:円)
収入	支出	差引残高(次年度繰越金)	摘要	
2,953,571	2,326,020	627,551		

# 平成24年度 立正大学ラグビー部後援会予算 平成24年4月1日から平成25年3月31日

【収入の部】				(単価:円)
科目	本年度予算	前年度予算	対前年比	摘要
前年度繰越金	627,551	821,821	△ 194,270	
年会費	2,080,000	2,080,000	0	個人会員260名 (780,000) 法人会員130名 (1,300,000)
総会・激励会参加費	300,000	190,000	110,000	総会:70,000/激励会:120,000 運営委員会:50,000/合宿激励:60,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	総会・激励会表賀
合計	3,257,551	3,341,821	△ 84,270	

【支出の部】				(単価:円)
科目	本年度予算	前年度予算	対前年比	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	ラグビー部への補助
事業費	600,000	600,000	0	総会・激励会・選手交流会・菅平合宿激励 ラグビー普及活動費等
会報等発行費	200,000	200,000	0	会報・会員証等印刷代
事務費	200,000	200,000	0	通信費、事務用品購入等
会費振込手数料	30,000	30,000	0	郵便振込
予備費	727,551	811,821	△ 84,270	
合計	3,257,551	3,341,821	△ 84,270	

# 平成23年度 立正大学ラグビー部後援会事業報告

平成23年	
開催日	内容
4月28日(金)	運営委員会開催(総会に向けて)
5月25日(水)	運営委員会開催(総会に向けて)
6月16日(木)	役員会・総会・懇親会開催(於:立正大学熊谷キャンパス)
8月 3日(水)	運営委員会開催(激励会に向けて)
8月30日(火)	合宿激励ツアー開催(於:菅平高原)
9月 6日(火)	会員証・会報発行
9月13日(火)	激励会開催(於:立正大学熊谷キャンパス)
9月25日(日)	公式戦応援(対白鷲大学) 76 - 70
10月 2日(日)	公式戦応援(対玉川大学) 139 - 70
10月16日(日)	公戦応援(対東洋大学) 57 - 140
10月23日(日)	公式戦応援(対朝鮮大学校) 87 - 70
11月 5日(土)	公式戦応援(対専修大学) 35 - 100
11月13日(日)	公式戦応援(対埼玉工業大学) 97 - 00
11月27日(日)	公式戦応援(対山梨学院大学) 57 - 150
12月11日(日)	1部2部入替戦応援(対拓殖大学) 21 - 27●

平成24年	
開催日	内容
1月 7日(土)	ラグビー部納会参加(於:ホテルガーデンパレス)

# 平成24年度 立正大学ラグビー部後援会事業計画

- ラグビー部への補助
- リーグ戦等試合の応援
- 激励会、選手交流会の開催  
—合宿激励 8月30日(木)於 菅平高原  
—激励会 9月11日(火)於 熊谷商工会議所大ホール
- 地域におけるラグビーの普及推進
- 後援会会報の発行
- 新規会員の増強
- その他

# 春季オープン戦・7人制結果

順調に強化の進んだ春季シーズン。  
課題も見えてきた!  
夏合宿を経て秋本番に向かって  
さらなる強化を遂げる!



【関東大学リーグ戦セブンス大会】 (武蔵野陸上競技場)				【東日本セブンス大会】 (秩父宮ラグビー場)			
日時	トーナメント	勝敗スコア	対戦相手	日時	トーナメント	勝敗スコア	対戦相手
4月15日	1回戦	○ 立正大学 39-12	拓殖大学	1回戦	● 立正大学 10-26	日本大学	
	2回戦	○ 立正大学 17-14	流通経済大学	コンソレーション1回戦	○ 立正大学 43-0	日本体育大学	
	準決勝	○ 立正大学 17-12	山梨学院大学	コンソレーション2回戦	○ 立正大学 35-0	慶應義塾大学	
	決勝	● 立正大学 24-27	東海大学	コンソレーション準決勝	○ 立正大学 21-12	大東文化大学	
				コンソレーション決勝	○ 立正大学 26-0	青山学院大学	

オープン戦			
日時	グレード	勝敗スコア	対戦相手
4月28日	A	○ 83-21	山梨学院大学A
	B	○ 53-15	山梨学院大学B
4月29日	C	● 26-90	山梨学院大学C
	D	○ 76-24	山梨学院大学D
5月12日	A	○ 78-15	慶應義塾大学B
	B	○ 59-15	慶應義塾大学C
5月13日	C	● 0-52	東洋大学B
	D	○ 55-52	東洋大学C
5月20日	A	● 28-43	中央大学A
	B	△ 24-24	中央大学B
	C	● 7-73	帝京大学C
	D	● 0-122	帝京大学D
5月27日	A	● 26-47	日本大学A
	B	○ 55-24	日本大学B
	C	● 5-52	国士館大学A
	D	● 31-53	国士館大学B
6月3日	C	● 28-67	拓殖大学C
	D	● 31-41	拓殖大学D

# 新部員名簿2012

今年も精鋭28名の新入部員が立正大学の門をたたきました。大きな希望を胸に、目標に向かって成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

ポジション	学年	名前	出身校
フロップ	1	大崎 祐磨	遠軽高校
	1	大矢 拳人	北越高校
	1	三浦 利弥	男鹿工業高校
ロック	1	谷山 辰哉	つくば国際東風高校
	1	持田 恭平	深谷高校
フランカー	1	新井 佑輔	深谷高校
	1	後藤 孝一朗	石巻工業高校
	1	佐藤 健人	仙台工業高校
NO8	1	渡辺 貴洋	常総学院高校
	1	沼澤 鷹介	山形中央高校
スクラムハーフ	1	初山 拓己	札幌山の手高校
	1	阿部 拓也	北条高校
	1	植竹 克明	熊谷工業高校
	1	福田 陽平	常翔学園高校
	1	鈴木 陽子	横浜市立東高校

# 2012年関東リーグ戦2部公式戦日程

今年も6試合が地元・熊谷で開催されます。ホームでの声援は選手にとって大きな力となります! 一人でも多くの方々がグラウンドへお越しいただけるよう選手一同心よりお待ちしております。

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月22日(土)	15:00	VS国学院大学	熊谷C
9月30日(日)	15:00	VS国士館大学	熊谷C
10月14日(日)	14:00	VS玉川大学	拓殖大学
10月21日(日)	14:00	VS東洋大学	熊谷A(有料)
11月4日(日)	14:00	VS埼玉工業大学	熊谷C
11月11日(日)	14:00	VS専修大学	熊谷B
11月25日(日)	14:00	VS山梨学院大学	熊谷B

# 第5回 立正大学ラグビーフェスティバル開催!

昨年は東日本大震災の影響により開催を中止した立正大学ラグビーフェスティバルが、4月8日(日)開催されました。晴天の下、小学生を対象としたラグビースクールや、新入生と立正大学OBとの交流試

合、また不惑クラブや熊谷市周辺の中学生による試合が行われました。立正大学から発信するラグビーの楽しさが、今後ますます地域の皆さんに広がっていくことを願い、さらなる発展を目指していきます!

